

会 議 記 録 簿

記 録	職・氏名 社会教育課（施策担当） 主査 桑原 一徳		
件 名	恵庭市社会教育委員の会議（令和２年度第３回）		
日 時	令和３年３月１２日（金） １４：００～１５：４５	会 場	市民会館大会議室
出席者	【協議会委員】 松田(委員長)、太田(副委員長)、松井、高橋、結城、井上、加藤、向井 (欠席：三科、塩野) 【教育委員会】 竹内部長、大嶋次長 社会教育課 渡部課長、桑原主査、村本主査、中村主任主事、杉田主事 読書推進課 黒氏課長 郷土資料館 原田館長	人 数	委員 ８名 市教委 ９名
概 要			
1. 開会			
2. 挨拶 恵庭市社会教育委員の会議 委員長 松田 一則 恵庭市教育委員会 部 長 竹内 春実			
3. 議題 【報告事項】 (１)「令和２年度 下半期社会教育事業報告」について (社会教育課) ・社会教育課所管分について説明 (読書推進課) ・読書推進課所管分について説明 (郷土資料館) ・郷土資料館所管分について説明 (A委員) コロナ禍の中実施できた事業もあるが、社会教育事業の実施率としては何％となるか。 (社会教育課) 実施率については、数値を出していないので、後日お伝えしたい。 事業の内容により、講義のようなものはオンラインの活用やコロナ対策を講じた中で開催できたものも多いが、体験事業や宿泊を伴う事業はほとんどが中止となった。領域により実施率が違うと思う。 ※全体の実施率について算出した結果 １８６事業中、１１２事業実施、実施率６０．２％ (社会教育課) 長寿大学、市民講座、公民館サークルは、時期がずれ込みながらも実施することができたが、イベント的な事業はほとんどが実施できなかった。 新成人の集いは、道の集中対策期間中の１月開催予定であったため開催できなかったが、新成人による実行委員の開催への熱意もあり、延期として５月２日に実施することと			

した。

(読書推進課)

読書推進事業については、参加人数を絞る対応をし、30事業のうち3事業のみ中止となり、他は形を変えながら実施した。通年で実施している「おはなし広場」や「BALLOON おはなし会」、「映画会」については、休館した関係から1ヶ月分が中止となった。

(2) 「第5期生涯学習基本計画」の策定について

(社会教育課)

3月5日の教育委員会で計画案が承認された。社会教育委員の皆様には、生涯学習推進協議会委員として第5期生涯学習基本計画の策定に取り組んでいただき感謝申し上げる。

表紙を水野みどり氏(生涯学習推進協議会委員)に作成していただいた。3月中に印刷を行う予定。

(A委員)

推進協議会に参加させてもらった。協議会なので次の計画のために委員の知恵を出し合って基本計画を作っていくのが本来の姿だと思うが、ワークショップ実施までは、協議というより議論をしたがる方向であった。本来の目的を理解して取組めば、回数を減らせたかもしれない。

(社会教育課)

皆様に多くのご意見を頂き、その積み重ねにより第5期計画を作ることが出来た。今後、事業評価等を行う中で、有効性の高い計画にしていだければと思う。

(B委員)

生涯学習の取り組みについて、長年蓄積された課題や考えを棚卸しして議論できたのが、一番の成果だと考える。各委員が何を大切に考えているかなど、意見を出し合う中で、ベクトルの違いなどが分かったが、全てを土俵に上げて議論できた。まとめていく中で、色々な意見が出てきたということも一つの成果だと思う。

行政の様々な会議において、スムーズな進行に重点が置かれていることが多いが、今年度の推進協議会は、プロセス自体もしっかり市民で作り上げたというもので、これを見せしていくことも重要。これが良いということではなく、ひとつの教訓として、前面に出していければと思う。

【協議事項】

(1) 令和3年度社会教育関係事業について

(社会教育課)

- ・社会教育課所管分について説明

(読書推進課)

- ・読書推進課所管分について説明

(郷土資料館)

- ・郷土資料館所管分について説明

(C委員)

コロナ禍の中、図書館で多くの事業を実施していただきありがたく感じている。電子図書にも期待している。社会教育事業も対策を取って実施して欲しい。

郷土資料館では体験学習等を行っているが、郷土資料館を身近に感じる機会を作っていてほしい。アイヌを題材にした漫画等をきっかけにして興味を持つ子どももいるので、そういうものを活用しても良いのではないかな。

(A委員)

文科省型コミュニティ・スクール(学校運営協議会)設置にあたり、課題等伝えたいこ

とはあるか。

(社会教育課)

文科省型コミュニティ・スクール(学校運営協議会)設置校には、社会教育課の役割として、地域と学校のつなぎ役、人材の紹介、社会教育視点からの助言、事業実施ノウハウ等の提供とお伝えしている。

先に設置した学校や恵庭版コミュニティスクール実施校(恵み野、島松)と新たに設置する学校とでは、経験や理解の蓄積や情報に差がある状況である。来年度、全小中学校に設置されることから、学校同士の情報の共有や横のつながりを持つことが必要になってくると考えている。

(A委員)

子ども読書の日記念事業とは、どういうものか。

(読書推進課)

4月23日の「子ども読書の日」を記念して、4月中旬から5月中旬に幼児～小中学生を対象として、各種事業を実施している。具体的には、子ども人形劇、おすすめ絵本などの展示を行い、子どもの読書活動を推進しているもの。

今後、オンライン事業についても増やしていきたい。電子図書館については、来年度から始めるが、まずは全小中学生にカードを配布して、自宅で楽しんでもらえるよう企画している。

(A委員)

郷土資料館の体験事業について、私もボランティアで係わっているので、実施に協力していきたい。今年度、長寿大学の研修旅行として「ウポポイ」に行く予定であったが、参加者が約200人ということで、コロナ禍で行けなかった。アイヌ文化学習見学会事業では、ぜひ皆さんに呼び掛けて実施して欲しい。

(郷土資料館)

事業を実施予定であるが、新型コロナの状況を見ながら、募集人数等を考え計画していきたい。多くの方に興味関心を持ってもらえるよう進めていきたい。

(D委員)

「郷土史に関する調査」はどのように進めているか。以前は、古老からの聞き取り調査も行っていた。

また、「縄文のまち連絡会」とは、どのような会か。

(郷土資料館)

「郷土史に関する調査」については、資料の提供などの申し出等があった時に随時収集している。聞き取り調査については、職員が少ないこともあり、ここ数年はお話を頂いたときに対応している状況。

「縄文のまち連絡会」は、28市町村が加盟し、縄文に関する交流や意見交換などを行っている。

(B委員)

新型コロナの影響はあるが、計画されている事業は、何らかの形で実施する方向で進めてほしい。対面での実施も健康調査などの対策を取りできるものもある。通学合宿など、地域の方々が主体となって実施しているものについては、新型コロナ感染対策の適切な知識や情報をお伝えし、実施できるようにサポートして欲しい。

事業の中止が、2、3年続くと必要性が問われることも出てくる。縮小や形を変えてもゼロよりはやる方がいい。

(社会教育課)

例年ベースの事業展開で予算を獲得しているところ。来年度は、どうやったら事業を実施できるか、できる方法を見つめながら実施していく年になる。

体験型の事業は、オンラインや屋外での実施など手法を検討しながら、社会教育の機会が失われないよう努力していきたい。

(委員長)

他に質問はないか。なければ、令和3年度社会教育関係事業について、承認するという
ことよろしいか。

(委員一同)

異議なし。

【その他事項】

(1) 「令和3年度 社会教育関係予算（案）」について

(社会教育課)

- ・資料に沿って説明

(2) 「令和3年度 社会教育関係団体補助金（案）」について

(社会教育課)

例年とほぼ変わらないが、コミュニティ活動助成金については、コロナ禍において宿泊を伴う事業の開催が困難な状況のため、来年度より日帰りの事業も対象に加えることとして進めている。

4. その他

(社会教育課)

- ・社会教育委員便り「ここから一步」の構成案について説明
- ・道社連協便りについて説明

第60回北海道社会教育研究大会 渡島大会の日程が、10月7～8日に決まった。日程が近づいたら改めてご案内する。

- ・市の社会教育施設のキャンセルに伴う使用料全額還付の変更について説明
4月以降に使用申請する分について、還付を行わないこととなった。

5. 閉会

会議の様子

